

肺がん



【肺がんで亡くなる人が多い】

- ・がんの中で最も死亡数が多い
- ・喫煙率が高い
- ・検診受診率が低い

大船渡市の死因第1位は、悪性新生物(がん)です。中でも、最も死亡数が多いのが肺がんです。国と比較して、肺がんの死亡率は1.2倍高く、特に男性は1.3倍高くなっています。

平成28年度は、市内で44名が肺がんで亡くなっています。

肺がんは、喫煙と関連が大きいがんです。

平成28年度特定健康診査問診票より、市の喫煙率は14.1%であり、県の13.5%と比較してやや高い状況であり、肺がんのリスクを高めています。

肺がんは、早期では自覚症状が現れにくいいため、肺がん検診による早期発見が重要です。

しかし、肺がん検診の受診率は、13.3%であり、県の目標値50%を大きく下回っています。

むし歯

【むし歯を持つ子どもが多い】

- ・1歳6カ月児健康診査 県内ワースト11位
- ・3歳児健康診査 県内ワースト1位

平成28年度の大船渡市の子どものむし歯の有病率は、県内33市町村中、1歳6カ月児健康診査ではワースト11位、3歳児健康診査ではワースト1位です。

歯が生え始めて、わずか1年でむし歯を持つ子どもがいます。また、3歳児の42.3%(県平均21.4%)がむし歯をもっています。

むし歯予防は、歯磨きなどの毎日の口腔ケアと、おやつのだらだら食いをしないなど、規則正しい生活が基本です。規則正しい生活は、むし歯だけでなく、生活習慣病や介護予防ともつながっています。

市では、生後間もなくから乳児訪問や健康診査などで、むし歯予防に関する情報を発信しています。

また、平成28年度から、1歳6カ月児および3歳児健康診査の際に、むし歯予防効果があるフッ素塗布を行い、子どものむし歯の予防に取り組んでいます。

大船渡市の4つの健康課題

糖尿病

【糖尿病の患者数が多い】

- ・大船渡市に住んでいる国保加入者のうち患者数第2位
- ・特定健康診査結果

糖尿病予備群の割合 69.9%

平成28年度特定健康診査結果より、約7割の人が血糖値が高い状態が続いている糖尿病予備群です。

糖尿病は、進行すると失明や人工透析、神経障害や循環不良による足の切断など、生活の質を低下させますが、さらに市の医療費にも大きな影響を与えています。

糖尿病を要因とする人工透析の医療費は、1人当たり年間500万円程かかります。

人工透析の医療費は、増加傾向にあります。

医療費が増加し続けると、国民健康保険税が増税になる可能性があります。

糖尿病は予防だけでなく、食生活の改善など人工透析に至らないよう、悪化させないことも重要です。

高血圧症

【高血圧症の患者数が多い】

- ・大船渡市に住んでいる国保加入者のうち患者数第1位
- ・特定健康診査結果

高血圧症予備群の割合 49.0%

国保加入者のうち、3人に1人は、高血圧で治療をしています。

また、平成28年度特定健康診査受診者のうち、およそ半数の人が収縮期血圧が高く、高血圧症予備軍です。

高血圧の状態が放置されたり、長期にわたって改善されないと、動脈硬化を招き、脳梗塞や脳出血などの脳血管疾患に至る可能性を高めます。

大船渡市の死因第3位が脳血管疾患です。

さらに、脳血管疾患は、生活の質の低下にも大きく影響する病気です。

介護保険第2号認定者(40~64歳)のうち、半数近くが、脳血管疾患が原因によるものです。

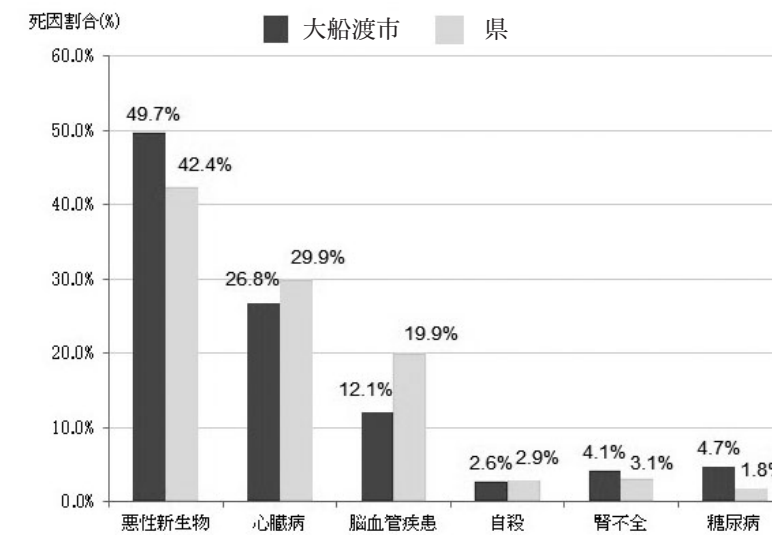


健康で長生きするために～今できること～

問い合わせ先=国保年金課(内線143)・健康推進課(内線437)



平成29年度大船渡市の疾病別死因割合



平成28年度大船渡市の疾病別患者数統計(患者数順位)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人)
1	高血圧性疾患	167,902,463	3,163
2	糖尿病	157,959,219	2,869
3	その他の消化器系の疾患	108,624,072	2,838
4	脂質異常症	91,995,117	2,323
5	他に分類されないもの	41,009,974	2,206

平成28年度大船渡市の疾病別医療費統計(医療費順位)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人)
1	腎不全	190,414,088	205
2	その他の悪性新生物<腫瘍>	173,507,521	1,290
3	高血圧性疾患	167,902,463	3,163
4	糖尿病	157,959,219	2,869
5	統合失調症	135,877,253	368

(参考)大船渡市の国民健康保険被保険者数9,265人(平成30年3月31日現在)

本号では、市民一人一人が健康で長生きするため、「市民の疾病の特性や傾向」、「4つの健康課題」、「特定健康診査の必要性」、「市が実施している支援および事業」について紹介します。

大船渡市国民健康保険被保険者における疾病の特性や傾向

平成29年度の大船渡市の国保加入者の死因を調べると、

最も多いのは悪性新生物(がん)49.7%(県42.4%)であり、次いで心臓病26.8%(県29.9%)、脳血管疾患12.1%(県19.9%)の順となっています。

また、糖尿病4.7%(県1.8%)、腎不全4.1%(県3.1%)は県平均よりも高くなっています。

一方、平成28年度の大船渡市の国保加入者の疾病別の患者数順を見ると、1位の高血

圧性疾患が3,163人、2位の糖尿病が2,869人、同じく医療費順を見ると、腎不全(人工透析有りを含む)が1位、高血圧性疾患が3位、糖尿病が4位と、生活習慣病に起因する疾病が多数を占めています。

これらのことから、高血圧性疾患および糖尿病の予防、もしくは悪化させないことが健康を守るカギとなっています。